

(7) 動物プランクトンモニタリング手法の開発

予算

国立大学法人広島大学業務委託事業

概要

本事業は、2018年度まで実施した環境省環境研究総合推進費「S13持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理手法の開発」で、広島大学から瀬戸内海の栄養塩濃度管理手法開発に活用するデータの取得について委託された業務の継続業務である。瀬戸内海では栄養塩レベルが低下するなかで、瀬戸内海一括の水質中心の管理ではなく、「湾灘管理を基本とする健全な物質循環と高い生物生産性」を目指した沿岸管理手法の開発が必要と考えられている。ここでは生物生産において未解明な部分が多い一次消費を評価する上で必要な、動物プランクトンデータを簡易に取得するためのメタバーコーディングによる動物プランクトンモニタリング手法を開発することを目的とする。2019年は、旧事業に引き続き、ネットサンプリングによる現場海域の動物プランクトン出現状況調査を実施するとともに、取得した動物プランクトンについてDNA取得用サンプルを広島大学に送付した。

担当者

山本圭吾